

札幌市まちづくり戦略ビジョン

戦略編（案）

概要版

皆さまのご意見を募集します

募集期間

平成 25 年 7 月 16 日（火）
～平成 25 年 8 月 14 日（水）



※この冊子は、札幌市まちづくり戦略ビジョン＜戦略編＞（案）の概要版です。
より詳しい内容が記載されている本書は下記の場所で配布しています。

ご意見の提出方法等について

1 意見募集期間

平成25年7月16日（火）
～平成25年8月14日（水）＜必着＞

2 意見の提出方法

（1）郵送の場合

本概要版の最終ページの「意見用紙」を切り取り、ご意見をご記入の上、のり付けしてポストに投函してください。
（切手不要）

（2）FAXの場合

011-218-5109

（3）Eメールの場合

sapporovision@city.sapporo.jp

（4）ホームページ上のご意見募集フォームから送信する場合

URL : <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/>

札幌市 戦略ビジョン

検索

上記ホームページにアクセスし、意見募集のページより送信フォームに必要事項を記入後、送信してください。

（5）直接お持ちいただく場合

■札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎10階
市長政策室政策企画部企画課

■受付時間 平日 午前8時45分～午後5時15分

3 お問い合わせ先

札幌市市長政策室政策企画部企画課
住所：札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市役所本庁舎10階

電話：011-211-2192

FAX：011-218-5109

Eメール：sapporovision@city.sapporo.jp

＜参考＞資料（本書・概要版）配布場所

◆札幌市役所本庁舎

- ・1階ロビー
- ・2階市政刊行物コーナー
- ・10階市長政策室政策企画部企画課

◆各区役所（総務企画課広聴係）

◆各まちづくりセンター

◆札幌エルプラザ

◆ちえりあ（札幌市生涯学習センター）

○まちづくり戦略ビジョン＜ビジョン編＞
概要版も上記の場所で配布しています

※ご注意

- 電話によるご意見の受付はいたしかねますのでご了承ください。
- ご意見の提出に当たってはお名前、ご住所等をご記入ください。（公表はいたしません。）

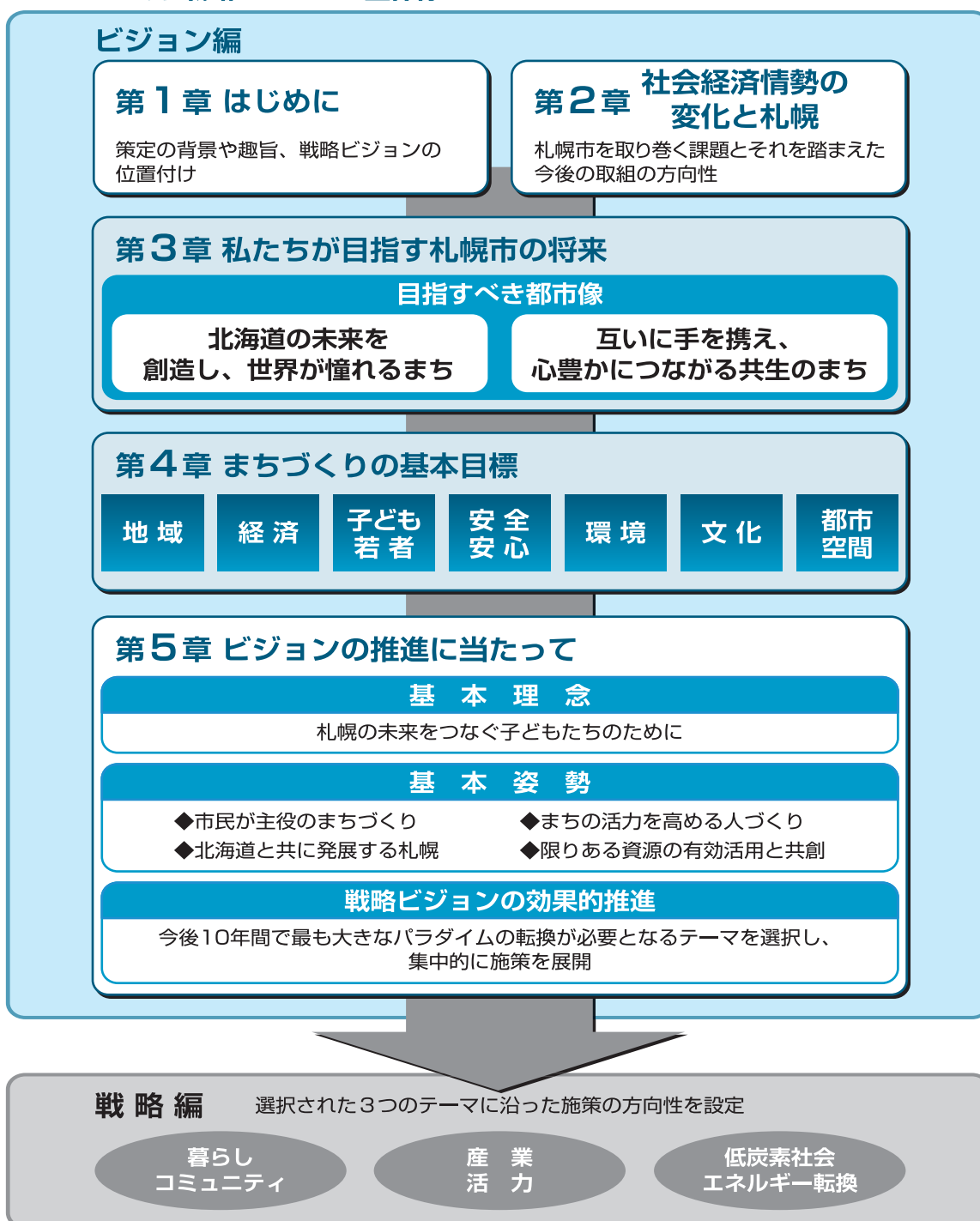
札幌市まちづくり戦略ビジョンについて

札幌を取り巻く社会経済情勢は、高齢化の進行に伴う様々な地域課題の顕在化や、生産年齢人口の減少に伴う経済規模の縮小、さらには、福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の抜本的な見直しなど、かつて経験したことのない大きな変化が起きています。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン」は、こうした状況の中、札幌に暮らす誰もが、目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共にまちづくりに取り組んでいくための基本的な指針となるもので、札幌市の最上位に位置付けられる総合計画です。

このうち、目指すべき都市像や基本目標などをまとめた<ビジョン編>については、平成25年（2013年）2月に策定していますが、<戦略編>は、ビジョン編に掲げる都市像を実現するために、戦略的に取り組んでいく都市経営戦略として定めるものです。

まちづくり戦略ビジョンの全体像



戦略編の策定趣旨

【将来の見通しと課題】

今後の財政状況は、生産年齢人口の減少などの影響により市税等の伸び悩みが懸念される一方で、社会保障関係費などの増加が見込まれ、札幌市の財政状況の先行きは厳しい局面にあると言えます。

【都市経営戦略の必要性】

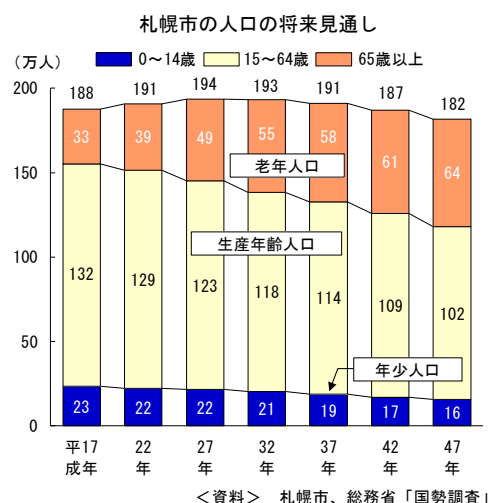
先人たちが築き上げてきたまちの魅力を更に高め、将来を担う子どもたちの輝かしい未来を創造するためには、札幌の強みや弱みを分析した上で、戦略を持って取り組むべきテーマへの経営資源の集中配分を行うための指針と、その展開を支えるための新しい時代に対応する行財政運営の視点が必要となっています。

そこで、このまちの魅力を高めていくためのまちづくりの指針として、「創造戦略」、「都市空間」、「行財政運営の視点」を示し、これを札幌市の都市経営戦略とします。

【戦略編の展開に当たって】

展開に当たっては、市民や企業などの多様な活動主体と協力しながら取り組んでいきます。また、この戦略の方向性に沿った中期実施計画などを策定していくとともに、各分野における個別計画の策定や見直しを行い、具体的な取組を進めていくことで、戦略の着実な推進を図ります。

また、目標とする成果指標やロードマップを設定するなど、実現性を確保するための目安を設け、明確な進捗管理を行うとともに、適宜、中間点検や評価を実施し、時代の変化に対応していきます。



第1章 創造戦略

社会経済情勢の変化や札幌ならではの強みと弱みを踏まえ、以下の観点から、次ページ以降に記載する8つの創造戦略を設定します。

暮らし・コミュニティ

人口減少や少子高齢化に伴う高齢単身世帯の増加や、貧困等の様々な要因による社会的孤立の顕在化などに対応するため、地域でのつながりや支え合いによる共助の意識の醸成と、これらを補完する地域社会の仕組みづくりが必要です。また、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、誰もが社会に参加できる環境づくりが重要です。さらには、複雑・多様化する地域課題の解決に向けた地域マネジメントを推進していく必要があります。

産業・活力

地域消費型の経済構造である札幌・北海道は、今後想定される人口減少により、経済規模の縮小や経済的困難を抱える層の拡大など、深刻な影響を受ける懸念があります。これを克服していくためには、新たな価値の創造による産業の高度化を図るとともに、道内循環を高め、道外需要を取り込むことで、足腰の強い経済基盤を確立することが重要な課題となります。また、経済を支える人材を育て、札幌・北海道の経済のために活躍してもらうことも必要です。

低炭素社会・エネルギー転換

地球規模での温暖化の進行や福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、今後、低炭素社会と脱原発依存社会を実現していくためには、環境負荷の少ない低炭素型の都市構造を形成していくことが大切です。また、エネルギー政策をまちづくりの中心に位置付け、エネルギー転換や効率的なエネルギー利用を進めていくことが、エネルギーの大消費地である札幌にとってますます重要になります。

10年後の目指すべき姿

地域の支え合いによって、高齢単身世帯や障がいのある方、要介護者などの社会的に孤立しがちな市民を始め、支援を必要とする市民が支援を受けられる環境が整っており、地域に密着した保健福祉サービスも充実しています。また、災害発生時に支援を必要とする要援護者への支援体制も充実し、誰もが安心して暮らしています。

<主な取組>

① 市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり

●地域福祉活動に対する支援を充実します。

- ・ 地区福祉のまち推進センターの活性化による見守りを推進します。
- ・ 要支援者情報の取扱いルールを確立し、地域内での情報共有を推進します。

●重層的な見守り体制を構築します。

- ・ まちづくりセンターなどによる活動主体間のネットワークを推進します。
- ・ 宅配事業者などとの見守り連携協定の締結を推進します。



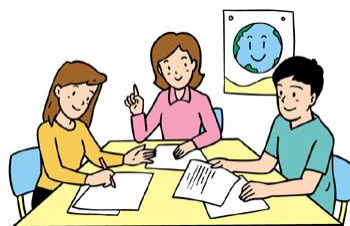
② 地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり

●支援を必要とする市民を適切に把握する体制を構築します。

- ・ 保健師等による要支援者への訪問相談の実施など、個別支援を強化します。
- ・ 地域の福祉ネットワークと専門機関との連携を強化します。

●地域で必要な保健福祉サービスが受けられる環境づくりを推進します。

- ・ 区役所における窓口間の連携強化による総合相談機能を強化します。
- ・ 地域の医療・介護関係機関などのネットワークを強化します。



③ 災害に備えた地域防災体制づくり

●避難場所の環境整備を推進します。

- ・ 避難場所の防寒対策や耐震化、バリアフリー化などを推進します。
- ・ 小中学校などに食糧や毛布、灯油ストーブなどの備蓄物資を拡充します。

●実践的な地域防災体制づくりを進めます。

- ・ 自主防災組織や学校、区役所等が参加する防災訓練や研修などを充実します。
- ・ 高齢者や障がいのある方など災害時要援護者への避難支援体制を充実します。



10年後の目指すべき姿

性別や年齢、障がいの有無などに関わらず、全ての市民が持てる能力を社会の中で発揮し、経済的にも自立しながら生きがいをもって生き生きと暮らしています。また、子どもや若者を社会全体で育てていく意識が高まっています。さらに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境が整っています。

<主な取組>

① 地域で共生する環境づくり

●共生・協働できる地域づくりを推進します。

- ・学校や児童会館などを活用した多世代交流の場を拡充します。
- ・障がいのある方を雇用する企業の開拓など、就労支援の充実を図ります。

●生涯現役で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。

- ・ボランティア活動で様々な特典と交換ができるポイント制度を拡充します。
- ・知識や経験を持つ高齢世代が活躍する機会を拡充します。



② 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり

●子育てしやすい環境づくりを進めます。

- ・区保育・子育て支援センター（ちあふる）の全区設置を推進します。
- ・小規模保育や休日保育、一時預かりなど保育サービスの充実を図ります。

●子ども・若者の多様な学びやまちづくり活動への参加機会を拡充します。

- ・地域の人材による学校支援など学校と地域の連携を促進します。
- ・区役所と大学の連携などにより、学生のまちづくり活動への参加を促進します。



③ 歩いて暮らせるまちづくり

●生活利便機能の維持・向上を推進します。

- ・商店街による高齢者などが買い物しやすい環境づくりへの取組を支援します。
- ・地域の需要に応じた路線バスの運行の最適化を図る取組などを進めます。
- ・学校や児童会館など公共施設の併設化や機能統合等の検討を進めます。

●地下鉄駅周辺施設などの利便性を向上します。

- ・再開発等を活用して地下鉄駅周辺など重点整備地区のバリアフリー化を推進します。



10年後の目指すべき姿

地域活動の担い手となる人材が育成され、活動主体同士による連携も深まっており、地域の主体的な活動が活発化しています。また、多様化する地域課題の解決への行政による支援体制も充実しており、地域マネジメントが推進されています。さらに、地域特性に合わせた除排雪や、雪と共存した札幌らしい冬の暮らしが実現しています。

<主な取組>

① 地域活動を活発化する環境づくり

●まちづくり活動の担い手となる人材を発掘・育成します。

- ・地域コミュニティの中心的組織である町内会への加入を促進します。
- ・学校と町内会などの連携による子どもの地域活動への参加を促進します。
- ・生涯学習と地域のまちづくり活動とのマッチングなどに取り組みます。



●市民の居場所・活動拠点づくりを推進します。

- ・地域活動の場として、空き家や空き店舗などの活用を支援します。

② 地域マネジメントの推進

●まちづくりセンターなどによる支援・調整機能を強化します。

- ・まちづくり協議会などへの参加団体の多様化に取り組みます。
- ・活動主体への行政情報や統計データの提供など支援の充実を図ります。

●地域マネジメントを推進します。

- ・区民協議会やまちづくり協議会などの活性化を図ります。
- ・地域の身近な行政機関である区役所の機能・役割の在り方を検討します。



③ 雪と共存した暮らしの推進

●地域特性に合わせた除排雪を推進します。

- ・地域の懇談会や小中学校での出前授業などにより除排雪への理解を促進します。
- ・福祉除雪の地域協力員の確保や企業・団体などによる協力を促進します。
- ・高齢化や人口減少を踏まえた除雪の在り方について市民議論を進めます。

●雪と共存した冬の豊かな暮らしを実現します。

- ・スキー指導者など地域の人材を学校などに派遣する取組を推進します。



10年後の目指すべき姿

札幌が持つ魅力的な地域資源を生かした食や観光分野において、新たな価値が生み出され、幅広い産業分野の競争力が高まっています。また、低炭素社会の実現や超高齢社会の到来によって生じる様々な需要や課題への対応などを通じて新たな価値を創造する環境、健康・福祉分野の産業が根付き、新しいビジネスが生まれています。

<主な取組>

① 食の魅力を生かした産業の高度化

●新たな価値の創造から道外販路の確保までを支援します。

- ・機能性食品の研究開発や鮮度保持技術の実用化などを支援します。
- ・プロモーションの強化や海外拠点の形成などにより、海外展開を支援します。



●道内外からの食関連企業の誘致、企業集積を促進します。

- ・北海道の強みを生かせる食・バイオ分野等の企業集積に向けて、近隣自治体と連携した誘致活動などを行います。

② 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

●札幌らしい新たな都市観光を創造します。

- ・魅力資源を発掘・創出・活用し、市民にも来訪者にも魅力的なまちづくりを進めます。
- ・国、地域などターゲットに合わせた効果的なプロモーション活動を展開します。

●観光消費の拡大、付加価値の向上を図ります。

- ・道内市町村と連携した観光振興や、外国人観光客の受入環境の向上を図ります。
- ・インバウンドやMICEの誘致強化と推進体制の充実を図ります。



③ エネルギー転換に対応した環境産業の創造

●エネルギー関連技術の産業化や技術集積を推進します。

- ・産・学・官連携により、積雪寒冷技術などの研究開発や実用化を支援します。
- ・太陽光などの再生可能エネルギー創出関連技術やそれらのエネルギーを蓄える技術開発や事業化に取り組む企業を支援します。
- ・再生可能エネルギー関連技術の集積や企業誘致を推進します。



④ 超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造

●健康・福祉分野における新たな価値を創造する産業を振興します。

- ・介護・看護などに関するものづくりの技術研究や商品化を支援します。
- ・医療・医薬や機能性食品などの研究開発の支援や、臨床や学術研究と産業をコーディネートする機能の構築を推進します。



10年後の目指すべき姿

創造性を生かした産業活動の推進や、国際戦略・シティプロモートの積極的な展開により、道内循環が高まるとともに、道外需要を積極的に取り込んでいます。また、こうした取組に併せて、札幌を含めた道央圏、さらには北海道全体の連携による都市競争力を強化するための基盤づくりが進んでいます。

<主な取組>

① 世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開

●アジアや北方圏に対するマーケティング活動やMICE誘致の強化を進めます。

- ・札幌市や地元金融機関等の海外拠点を活用した企業マッチングなどを実施します。
- ・インバウンドやMICEの誘致強化と推進体制の充実を図ります。

●企業や市民の国際化を促進する仕組みづくりを進めます。

- ・若い頃からの海外経験を促すとともに、セミナーなどを通じて多様な文化に触れる機会を提供します。



② 創造性を生かしたイノベーションの誘発

●創造的なものづくりにチャレンジする起業家を育成します。

- ・コワーキング等の新たな働き方への支援や、インキュベーション機能の強化を図ります。

●創造的な活動と地場産業の交流を促進します。

- ・映像のプロモーション効果を活用して、観光客やMICEの誘致、地場商品の販路拡大などを推進します。
- ・札幌国際芸術祭等を活用しながら、芸術家とものづくり企業などの多様な企業との交流や連携を促進します。



③ 広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実

●道内外とのヒト・モノ・情報の流れを活性化します。

- ・6次産業化や滞在型観光など、あらゆる産業分野における道内連携を促進します。
- ・北海道新幹線の早期開業に向けた取組を推進するとともに、骨格道路網の整備、海外航空路線の拡充促進や、丘珠空港、新千歳空港、石狩湾新港の利用促進を図ります。
- ・道内とのアクセス拠点ともなる札幌駅交流拠点の基本的な整備方針を策定します。



④ シティプロモート戦略の積極展開

●札幌の魅力を感じ、発信する人を更に増やすことにより、シティプロモートを推進します。

- ・シティプロモートのシンボルマークである“SAPPORO（サップロスマイル）”なども活用しながら札幌ならではのライフスタイルの魅力を効果的に世界に発信します。
- ・冬季スポーツ国際大会やユネスコ創造都市ネットワーク加盟により、国際都市としての魅力を高めます。



10年後の目指すべき姿

札幌・北海道の将来を担う創造性豊かな人材が育ち、誰もが活躍できる環境が整っています。さらに、女性や高齢者を始めとした市民一人一人が力を発揮し、多様化する社会的課題の解決や持続可能な経済の成長が実現されています。

<主な取組>

① 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用

●子どもたちの経験を豊かにする環境をつくります。

- ・札幌の自然や歴史等を学び、文化芸術に親しむ機会や、食育、科学的リテラシー、勤労観や職業観を育む学習機会など、様々な教育プログラムの充実を図ります。
- ・国際理解教育の推進や、若い頃からの海外経験を促すほか、海外との交流を促進します。



●札幌・北海道の将来を担う創造性豊かな人材を育成します。

- ・市内の大学などによる高度専門職業人の創出を推進するとともに、就業能力の開発に関するセミナー等の充実を図ります。



●優れた人材の知識や経験などを生かします。

- ・大学などによる留学生誘致活動への支援や、留学生誘致に向けたPRを実施します。
- ・優れた人材と企業のマッチング支援の強化や、留学生などのグローバル人材に対する就職セミナーや就業マッチングを推進します。

② 誰もが活躍できる社会の実現

●女性が活躍しやすい環境をつくります。

- ・女性の潜在的な力を生かした起業や就職への支援や、公開講座などによる離職後のキャリアアップの機会提供を通じた女性の再就職支援を行います。
- ・認可保育所の整備や、地域型保育や休日保育を推進します。また、延長保育や一時預かりなどの拡充や、認定こども園への移行支援を行います。
- ・放課後児童クラブの充実を図るほか、学校と児童会館の併設化の検討を進めます。



●社会的課題を解決するための活動を促進します。

- ・ソーシャルビジネスなどの立ち上げにあたって、経営相談・融資や助言者となる先輩起業家との出会いの場の提供などの支援を行います。
- ・豊富な知識や経験を持つ高齢者が、企業やソーシャルビジネス等の場で活躍するための支援を進めます。



創造戦略7 低炭素都市創造戦略 ～環境負荷の少ない都市の形成～

10年後の目指すべき姿

地下鉄駅などを核に都市機能が集約され、公共交通の利便性も確保されることで、自家用車などでの移動による温室効果ガスの排出量が抑制された持続可能な集約型の都市が構築されています。さらに、豊かな自然と調和することで、みどり豊かで環境負荷の少ない都市が形成されています。

<主な取組>

① 持続可能な集約型の都市への再構築

●低炭素都市への再構築を進めます。

- ・低炭素まちづくり計画の策定に向けた検討を進めます。
- ・集約型の都市への再構築に向け、都市再開発方針を見直します。

●都心や地下鉄駅周辺などに都市機能の集積を促進します。

- ・交流拠点（札幌駅、大通、創世）の整備や創成川以東のまちづくりを推進します。
- ・地下鉄駅周辺などで、生活関連機能の導入などへの支援を行います。



② 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

●公共交通の利用促進を図ります。

- ・駅周辺施設などの利便性向上を図ることなどにより、公共交通の利用を促進します。

●使いやすい地域公共交通体系を確立します。

- ・多様な主体と連携した生活交通を確保する取組などを推進します。

●都心や地下鉄駅周辺の移動の快適性や交通環境の向上を図ります。

- ・路面電車をループ化させるとともに、3地域（都心・創成川以東・桑園）への延伸を検討します。
- ・沿道ビルの地下空間への接続や、空中歩廊・民有地におけるオープンスペースの整備などを促進します。



③ 自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

●生物多様性の保全を推進します。

- ・生物多様性に関する普及啓発を推進します。

●みどりの創出とネットワーク化を推進します。

- ・都心における新たなオープンスペースの創出を図ります。
- ・地域特性や市民ニーズに応じた公園の機能再編・再整備を進めます。

●森林の保全や市街化調整区域の特質を生かした土地利用を進めます。

- ・森林の機能や天然・人工林などの区分に応じた森林管理手法を検討・実施します。



10年後の目指すべき姿

次世代エネルギーシステムが普及するとともに、効率が良く安定したエネルギー供給を支える自立分散型のエネルギーネットワークの整備が効果的に展開されています。さらに、家庭や企業などの省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギーが進むとともに、ごみ焼却エネルギーの効果的な活用などにより、循環型社会が実現しています。

<主な取組>

① 次世代エネルギーシステムの普及促進

●エネルギー政策に関わる構想などを策定します。

- ・エネルギー政策に関わる将来的な構想と中長期的な基本計画を策定します。

●先進的なシステムなどの普及を促進します。

- ・省エネルギー・再生可能エネルギー機器導入支援の強化などを推進します。

●広域的な再生可能エネルギーの普及を促進します。

- ・札幌市近郊における再生可能エネルギー導入の支援や広域的な活用の方向性の検討を進めます。



② 自立分散型エネルギーネットワークの展開

●自立分散型エネルギーネットワークの構築を促進します。

- ・エリア単位でのエネルギー供給拠点の整備と、これらと建物などを結ぶネットワークの構築を促進します。
- ・熱需要者であるビルのネットワークへの接続や、建築物の低炭素化などを促進する仕組みを構築します。

③ 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進

●環境に優しいライフスタイルへの転換などを促進します。

- ・市有施設へ太陽光発電やLED照明などを積極的に導入します。
- ・学校や青少年科学館、円山動物園における環境教育を推進します。
- ・エネルギーの見える化や省エネルギー普及促進事業を推進します。



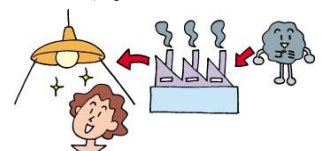
④ 循環型社会の構築

●廃棄物の減量などを推進します。

- ・生ごみの堆肥化を促進するとともに、ごみ減量行動のメリットの見える化などを推進します。
- ・ごみ焼却灰の資源化や使用済み小型家電に含まれる有用金属の資源化などを推進します。

●高効率なエネルギー回収を推進します。

- ・清掃工場で、ごみ焼却エネルギーをより効率的に回収するシステムを導入し、廃棄物発電や熱利用などを推進します。



第2章 戦略を支える都市空間

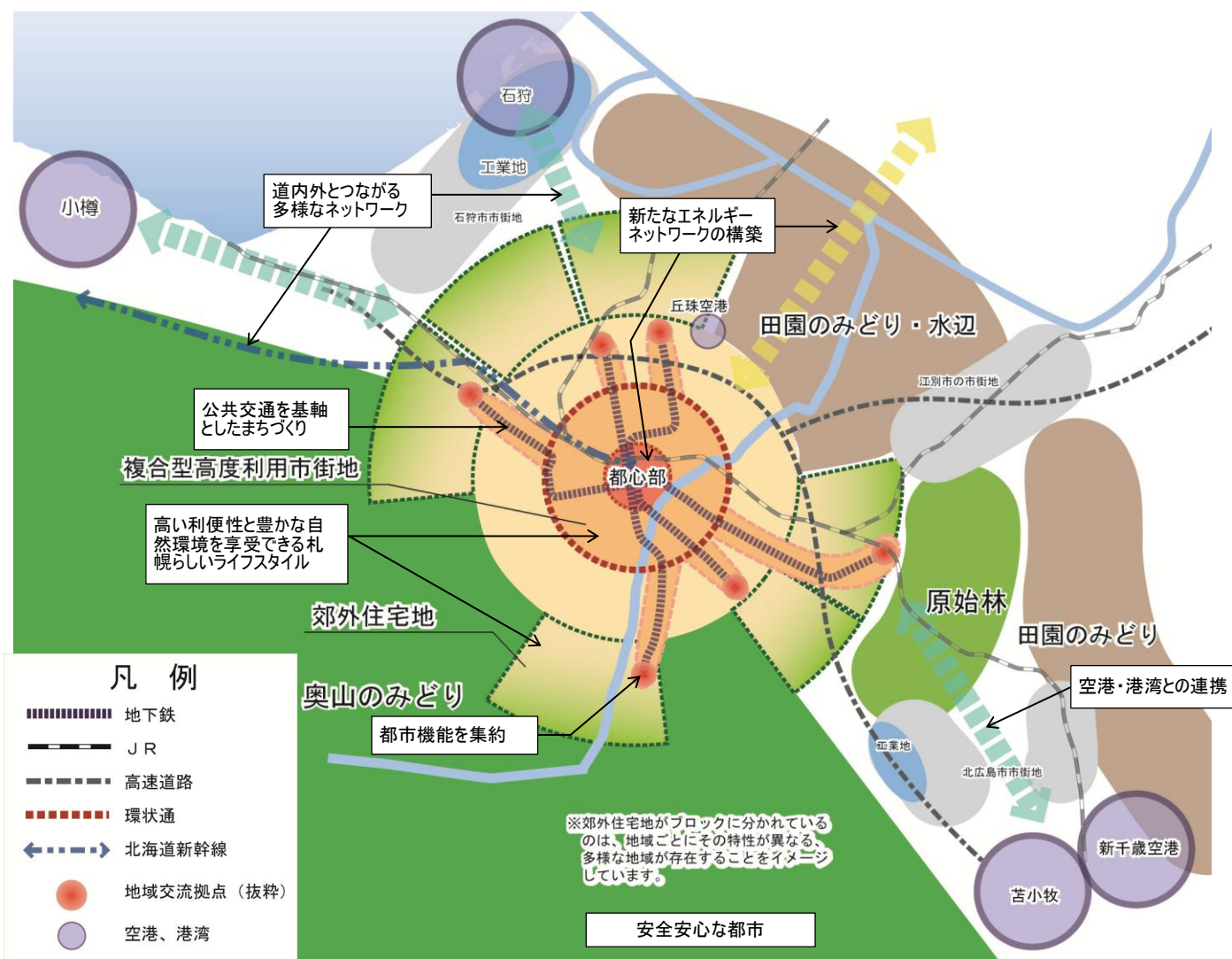
第1章に掲げる「創造戦略」の展開を支え、このビジョンで目指す都市像の実現に向けた都市整備の基本方針として、都市空間を創造するための基本的な考え方と、今後10年間に集中的に取り組む都市整備に関する施策を「都市空間創造戦略」として示します。

都市空間創造の基本目標

これからの都市空間を創造するための基本目標を、次の通り設定します。

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める

- 地下鉄駅の周辺などに、多様な都市機能を集約することで、効率的に都市サービスを享受できるコンパクトな都市
- 良好な環境を備える郊外での暮らしを選択するなど、住まいの多様性が確保された札幌らしいライフスタイルが実現できる都市
- 公共交通を基軸としたまちづくりを推進するとともに、新たなエネルギーネットワークの構築などによる環境都市
- 都市の活力を創出するため、道内外と多様な交通ネットワークでつながる、北海道の中心都市
- 都市基盤が効率的に維持・保全され、災害に強い安全・安心な都市



目指す都市空間のコンセプト

共創都市さっぽろ ～ S・L・I・M City Sapporo ～

※S・L・I・M(スリム)とは、Sustainability(持続可能性)、Livable(安心・快適で質の高い生活)、Innovation(創造性の発揮)、Managing(エネルギーやモビリティなど多様なマネジメント)の頭文字を指し、S・L・I・M City Sapporoとは、これらを包括した都市の概念

1 魅力ある市街地

(1) 複合型高度利用市街地

目指す 都市空間	定義	おおむね環状通の内側と地下鉄の沿線、地域交流拠点に位置付けられているＪＲ駅の周辺
		・居住機能と生活を支える多様な機能が複合した比較的高密度で質の高い市街地を目指します。
都市空間 創造戦略	●質の高い複合型の市街地形成を促進します。	
	・再開発などにより、集合型の住宅や生活利便機能などの立地を促進します。 ・景観に関する制度の見直しや札幌らしい景観まちづくりを推進します。	

(2) 郊外住宅地

目指す 都市空間	定義	札幌市住区整備基本計画などに基づき、低層住宅地を主として計画的に整備してきた地域
		・良好な環境が維持され、誰もが安心して暮らすことができる住宅地を目指します。
都市空間 創造戦略	●安心して暮らせる郊外住宅地を目指します。	
	・生活利便機能の立地への対応や地域特性に応じた取組を推進します。 ・地域の足を確保する取組を推進します。	

(3) 一般市街地

目指す 都市空間	定義	複合型高度利用市街地と郊外住宅地以外の地域
		・居住者の利便や就労などを支える機能が立地する住宅地と、工業地・流通業務地などから構成される市街地を目指します。
都市空間 創造戦略	●一般市街地の生活の維持・保全を図ります。	
	・住宅地や産業団地など、地域特性に応じて土地利用計画制度を適切に運用します。	

2 活力があふれ世界を引きつける都心

目指す 都市空間	定義	ＪＲ札幌駅北口の一帯、大通東と豊平川が接する付近、中島公園、大通公園の西側付近を頂点とする、ほぼひし形に広がる区域
		・高次の都市機能が集積し、魅力ある空間が整うなど、市民生活の質の向上を支えるとともに、札幌を世界にアピールすることができる魅力的な都心を目指します。 ・地上や地下の回遊性が向上し、交通環境が改善された、人にやさしい都心を目指します。 ・先進的かつ積極的なエネルギー施策を展開する、環境首都・札幌を象徴する都心を目指します。
都市空間 創造戦略	●札幌の顔にふさわしい重点的なまちづくりを推進します。	
	・都心のにぎわい・憩いの空間の創出や再開発を進めます。 ・創成川以東地区のまちづくりを重点的に推進します。	
	●都心の回遊性の向上や交通環境の改善を図ります。	
	・路面電車のループ化や地下歩行空間の充実など、回遊性を高めます。 ・自転車利用環境を改善する総合的な取組を推進します。	
	●先進的・積極的なエネルギー施策の展開を図ります。	
	・エネルギーネットワークの強化・拡大などを促進します。	

3 多様な交流を支える交流拠点

(1) 地域交流拠点

定義

交通結節点である主要な地下鉄・JR駅の周辺で、都市基盤の整備状況や機能集積の現況・動向などから、地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域のほか、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域

目指す都市空間

- ・周辺地域の住民も利用する区役所などの公共機能や、商業・業務・医療などの都市機能の集約と、居住機能との複合した市街地を目指します。特に、地下鉄始発駅などの主要な駅では、重点的な取組が進められています。
- ・駅周辺施設が空中歩廊や地下ネットワークにより駅に接続するなど、冬でも快適な歩行空間が整った市街地を目指します。

地下鉄始発駅：新さっぽろ、宮の沢、麻生・新琴似、真駒内、栄町、福住
その他：大谷地、白石、琴似、北24条、平岸、澄川、光星、月寒、手稲、篠路、清田

都市空間創造戦略

●地下鉄駅周辺などの機能向上を促進します。

- ・再開発などによる都市機能の誘導や快適な歩行空間の創出などを促進します。
- ・区役所などの拠点への配置を実施・検討します。

(2) 高次機能交流拠点

定義

産業や観光、文化芸術、スポーツなど、国際的・広域的な広がりをもって利用され、札幌の魅力と活力の向上を先導する高次の都市機能が集積する拠点

目指す都市空間

- ・札幌が持つ高次の都市機能をさらに高める取組により、魅力と活力あふれる都市を目指します。

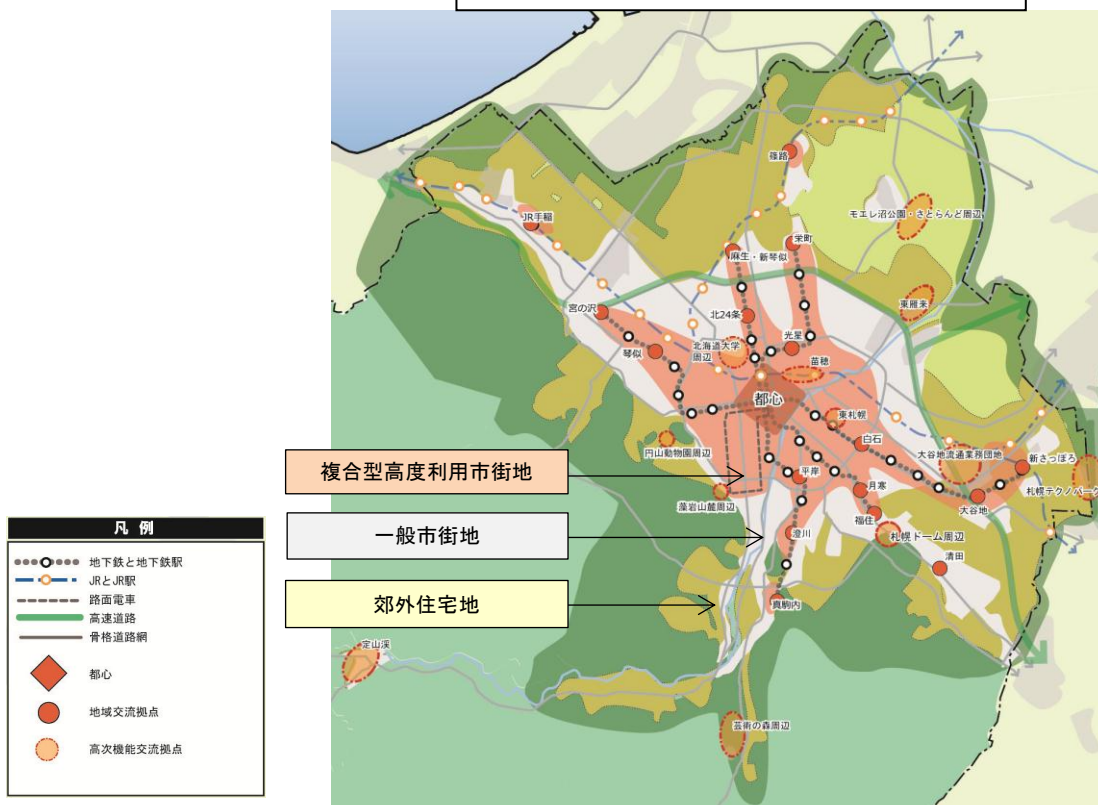
円山動物園周辺、藻岩山麓周辺、北海道大学周辺、苗穂、東雁来、モエレ沼公園・サッポロさとらんど周辺、大谷地流通業務団地、東札幌、札幌テクノパーク、札幌ドーム周辺、定山溪、芸術の森周辺

都市空間創造戦略

●都市機能を高める取組を推進します。

- ・それぞれの拠点の性格を踏まえた都市機能の集積や高度化に向けた取組を推進します。

市街地区分及び拠点の位置図



4 持続可能な都市を支えるネットワーク

(1) 交通ネットワーク

目指す
都市空間

- ・公共交通を中心とした交通ネットワークをさらに活用するとともに、骨格的な道路網の強化などにより、市民生活や経済・観光などを支える円滑な交通ネットワークの構築を目指します。

都市空間
創造戰略

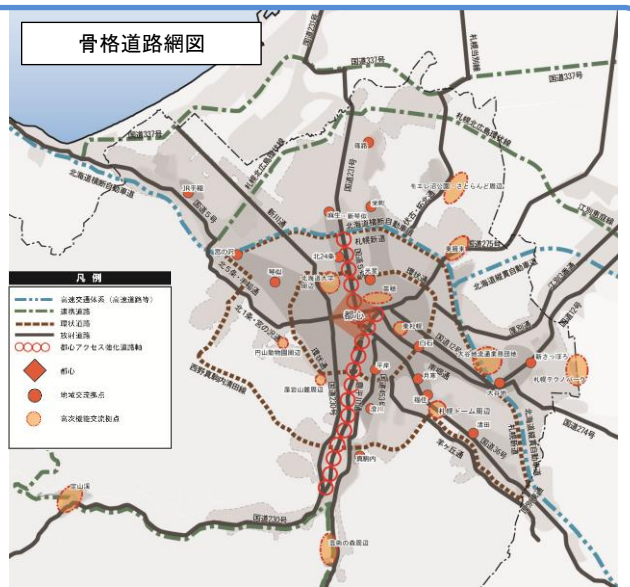
●公共交通の利用促進を図ります。

- ・地下鉄・ＪＲ駅などの交通結節点の利便性を高める整備を推進します。

- ・路面電車に関する整備やバス等の利便性向上に向けた取組を推進します。

●骨格道路網などを強化します。

- ・広域連携の強化と市内交通の円滑化を進めます。



(2) みどり豊かな空間のネットワーク

目指す
都市空間

- ・骨格的なみどりの整備や市街地のみどりの充実・ネットワーク化を進め、札幌らしい、みどり豊かな都市を目指します。

都市空間
創造戰略

●骨格的なみどりのネットワーク化を推進します。

- ・拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

- ・都心では、オープンスペースの整備や民間施設の緑化を支援します。

●市街地のみどりの充実・ネットワーク化を推進します。

- ・地域特性に応じた公園の機能再編・再整備を進めます。

- ・既成市街地への公園整備を進めます。



(3) エネルギーネットワーク

目指す
都市空間

- ・自立分散型のエネルギー供給体制と、これをつなぐネットワークが形成された都市を目指します。
- ・市域外も含めた広域的な再生可能エネルギーを活用する、エネルギーの利用効率と安定性が高い都市を目指します。

都市空間
創造戰略

●都市開発等に合わせたエネルギーネットワークの構築などを促進します。

- ・再開発や清掃工場の建て替えなどと連動して、エネルギーネットワークの構築を促進します。

●創エネルギーを推進します。

- ・ごみ埋め立て地などの未利用地を活用した再生可能エネルギーの導入を支援します。

5 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

目指す
都市空間

- ・都市基盤の効率的かつ計画的な維持・保全や機能の見直し・複合化、耐震化などが計画的に行われている、安全・安心な市民生活が実現する都市を目指します。

都市空間
創造戰略

●都市基盤の維持や活用を推進します。

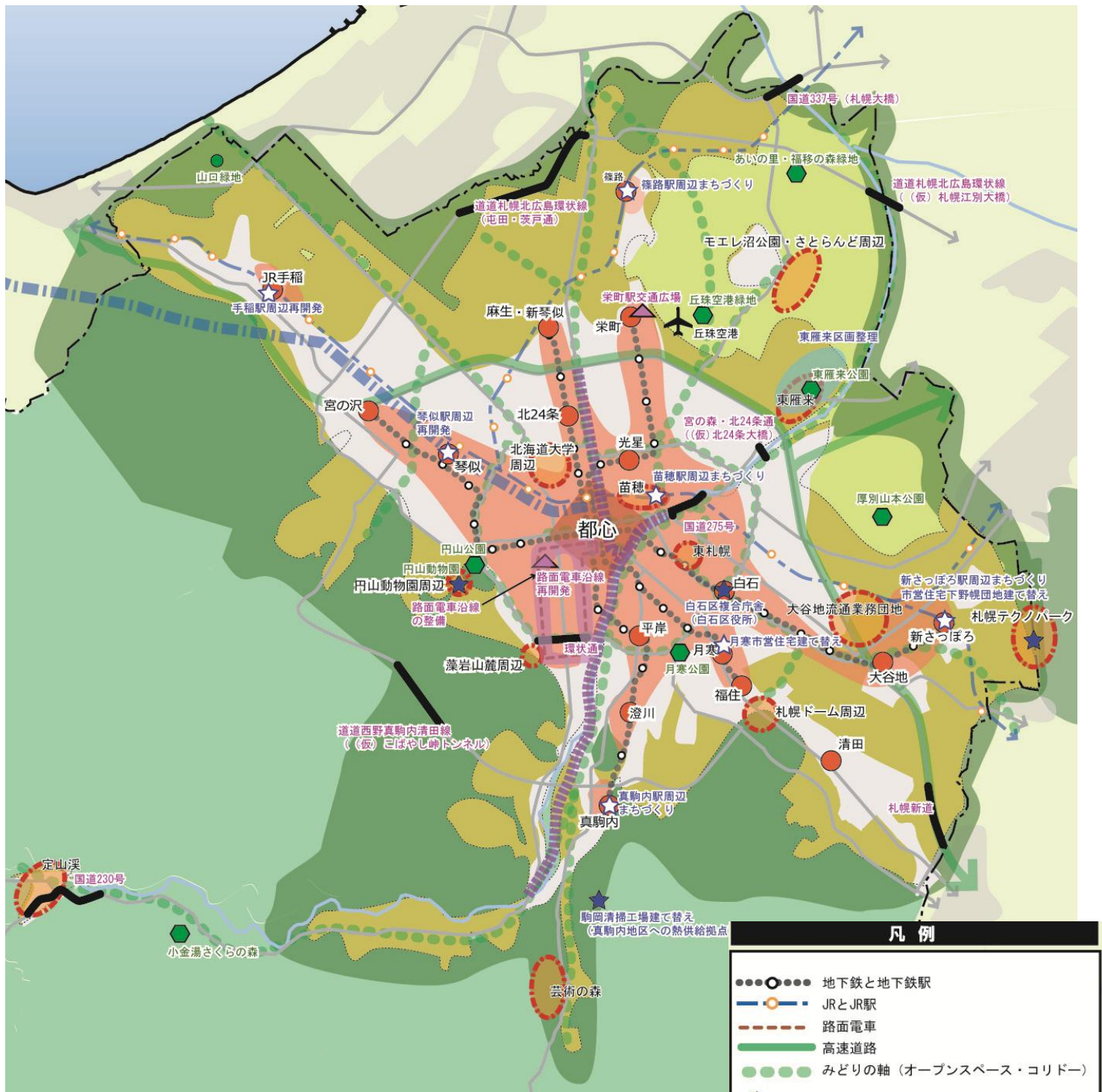
- ・都市基盤の維持・保全を進めます。

- ・都市基盤の適切な再配置と活用を図ります。

●災害に強い都市を構築します。

- ・建築物の耐震化などを促進します。

- ・災害に強い都市基盤の整備を推進します。

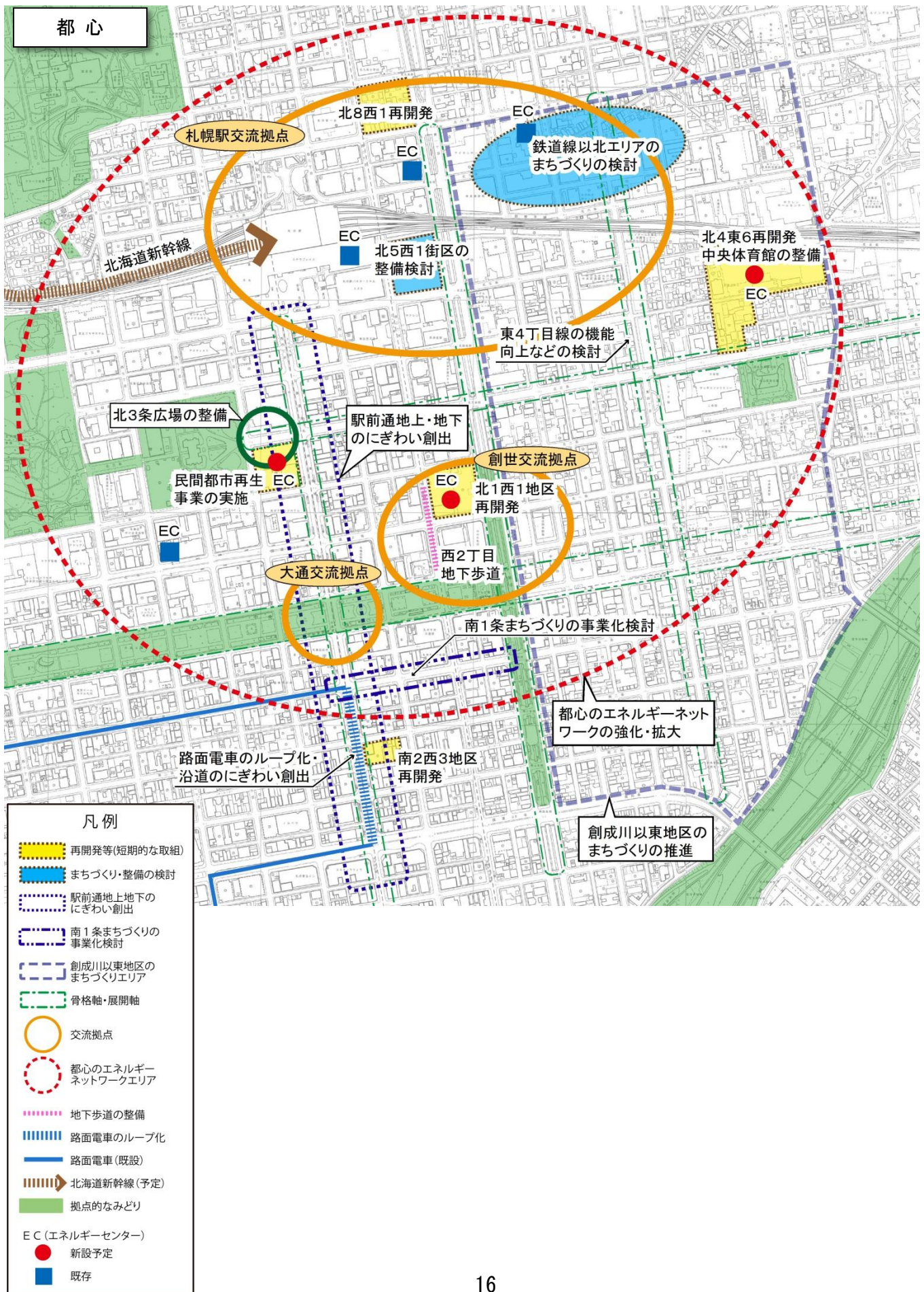


凡例

- 地下鉄と地下鉄駅
- JRとJR駅
- 路面電車
- 高速道路
- みどりの軸（オープンスペース・コリドー）
- ◆ 都心
- 地域交流拠点
- 高次機能交流拠点

＜想定される主な取組＞

- ■ ■ ■ ■ 北海道新幹線（予定）
- ■ ■ ■ ■ 都心アクセス強化道路軸（予定）
- ★ 拠点の強化
- ☆ 拠点の強化と共に市街地の再構築を進める
- ▲ 交通ネットワークの強化
- みどり空間ネットワークの創出



第3章 戦略の展開に当たって踏まえるべき行財政運営の視点

これからの財政状況を見てみると、生産年齢人口の減少などの影響により、市税収入などの財源の落ち込みが懸念される一方で、高齢化の急速な進行などにより扶助費等の社会保障関係費や公債費の増加傾向が今後も続くことが見込まれるなど、総じて厳しい局面にあるといえます。

そのような中であっても、第1章「創造戦略」と第2章「戦略を支える都市空間」に掲げる札幌の魅力を磨き高める取組を効果的に進めていくためには、パラダイムの転換による新たな視点と価値観を踏まえた行財政運営に取り組み、限りある経営資源を有効に活用していく必要があります。

そこで、この章においては、今後の行財政運営上、特に踏まえるべき重要な視点を示します。

行財政運営の視点

1 市民自治の更なる深化 ～市民が主役のまちづくり～

- より詳細でわかりやすい情報提供と徹底した市民議論等を通じて、市民が主役のまちづくりを進めます。
- 新しい公共の成長を支援し、地域で生じている様々な課題にきめ細やかに対応していきます。

2 変化に対応できる組織

- 区役所やまちづくりセンターなどのコーディネート機能を強化します。また、組織横断的なプロジェクトチームを設置するなど、柔軟な組織運営体制の構築を進めていきます。
- 各種研修やOJTを通じて、様々な行政課題の変化に的確に対応できる職員の育成を行います。

3 持続可能な財政運営

- ベンチマークの設定による財政規律の維持など、計画的な財政運営を行います。
- 柔軟で機動的な「通年型アジリティマネジメント」による財政運営を推進します。
- 地域経済の活性化に資する施策、事業展開により、強固な産業基盤を確立するとともに、事務事業の不断の見直しを行っていきます。

4 サービス水準や受益と負担の在り方

- 行政サービスの水準や、受益と負担の在り方については、税により賄う必要性や経営資源の配分における世代間のバランスなどを考慮し、市民意見等も踏まえながら、検討していきます。

5 市有財産の保全と活用

- 市有建築物の更新に当たっては、複合的利用や機能転換などを進めることで、総量を抑制しつつ市民の利便性を高める工夫をしていきます。
- 市有財産や施設の更なる質的な向上を図り、最小の経費で最大の効果を発揮していきます。

6 市民・企業などとの連携の強化

- 市民・企業・行政相互の連携協働の関係を一層深化させる取組を進めていきます。
- 都市基盤の整備等については、公共施設の整備だけにとどまらず、規制緩和や補助制度などを通じて、民間企業の投資の動きを活性化する支援を行っていきます。

7 北海道と道内市町村との連携体制の確立

- 北海道と札幌市の役割分担を明確にするともに、様々な分野において連携を深め、北海道や道内市町村との互惠的（Win-Win）な関係を築いていきます。

皆さまからのご意見をお待ちしております。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉（案）」についてご意見を募集いたします。
いただいたご意見につきましては、「札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉」を策定
するに当たり参考とさせていただきます。
また、趣旨が同じご意見を集約した上で、ご意見に対する札幌市の考え方について、とりまと
めて公表いたします。

意見募集期間

平成25年7月16日（火）～平成25年8月14日（水）〈必着〉

ヤマオリ①



差出有効期間
平成25年8月
31日まで
●切手不要



料金受取人払郵便



札幌市長政策室政策企画課 行

札幌市中央区北1条西2丁目

060-8788

キリント

ヤマオリ②